

情報公開用文書

医療の内容	イオパミドールを用いた消化管造影検査
対象者	医師が本剤を必要と判断した患者様
承認日	2026 年 7 月 27 日
対象期間	承認後からガストログラフィンの納入が安定するまで
概要	【目的・意義】 当院では、消化管穿孔、縫合不全、狭窄、閉塞等が疑われる患者様に対して、診断目的で消化管造影検査を実施しています。これまで主としてガストログラフィンを使用してきましたが、安定供給の見通しが立たない状況となっています。 このため当院では、代替造影剤としてイオパミドールを用いた消化管造影検査を実施します。消化管造影検査は国内添付文書上の適応には含まれていないため、本使用は適応外使用に該当しますが、海外では消化管穿孔や縫合不全が疑われる症例に対する水溶性造影剤として使用実績があり、その有効性および安全性について一定の知見が蓄積されています。当院でも関連する医学的知見や安全性情報を確認した上で使用いたします。 【想定される不利益】 イオパミドールは長年使用されている造影剤であり、消化管造影に用いた場合において、新たな副作用が起きる可能性はありませんが、すでに知られている副作用として、下記の副作用が起こる可能性があります。 下痢（1%以上 10%未満）、吐き気、嘔吐（0.1%以上 1%未満） 誤嚥および肺合併症 さらにヨード造影剤であるため以下の過敏反応が起こる可能性があります。 吐き気、嘔吐、発疹、かゆみ、じんましん、血圧低下、呼吸困難 アナフィラキシーショック（重篤なアレルギー反応） なお、消化管投与時には重篤な副作用の頻度は低いとされております 【費用負担】 この検査等にかかる費用は通常の保険診療と同じです。この検査による副作用が生じた場合も保険診療になります。なお、国の副作用被害救済制度の適用とならない場合もありますのでご了承ください
当院の未承認新規医薬品等を評価する委員会において承認を受けた上記の治療について、対象者となられる方から同意をいただくことにかえて、病院ホームページにて情報を公開することにより実施しております。 本件について同意できない場合、この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。もし同意されない場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。	
お問い合わせ先	主治医 もしくは 福岡輝栄会病院 薬剤科 代表 092-681-3115